

1. 主旨

平成 30 年度に開催される以下の大会に出場を希望する選手の選考基準について述べる

- (1) 第61回全日本社会人バドミントン選手権大会 (以下 全日本社会人)
- (2) 第35回全日本シニアバドミントン選手権大会 (以下 全日本シニア)
- (3) 第71回中部日本バドミントン選手権大会 (以下 中部日本)

2. 全日本社会人

(1) 申込み資格対象大会

- ①平成29年度の県社会人選手権大会出場者
- ②平成30年度の県総合選手権大会出場者
- ③平成30年度の国体県予選 (成年の部) 出場者
- ④平成30年度の春季新人戦出場者
- ⑤平成30年度の秋季新人戦出場申込者

(2) 選考方法

- ①平成29年度の全日本社会人でベスト 8 に入った者及び日本ランキングのベスト16の者は選考対象及び参加枠数外とする
- ②申込み資格対象大会の上位入賞者より参加枠数に応じ決定する
- ③参加枠数への優先順位は、(1) の申込み資格対象大会の記載順とする
但し、参加申込み数が参加枠数を超えた場合 (1) の①を優先し②～⑤の成績を総合的に判断し決定する
- ④複・混合複は選考対象大会のパートナーでなくても出場可とするがいずれの選手とも (1) の申込み資格対象大会への参加が必要とする
- ⑤参加枠内での参加申込数の場合、(1) の申込み資格対象大会参加のみで可とする
この場合申込み資格対象大会の初回戦での棄権は問わない
- ⑥申込み資格対象大会の参加種目は問わない
- ⑦最終選考は、競技委員会一任とする
- ⑧(公財)日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること

(3) 申込みランキング

- ①全日本社会人の参加資格
A (前回大会ベスト 8)・B (日本ランキングベスト 16)
- ②①項以外は申込み資格対象大会の (1) の①②の成績を基本に他の各成績を総合的に考慮し決定する
- ③申込みランキングは、競技委員会一任とする

3. 全日本シニア

(1) 申込み資格対象大会 (2 項の全日本社会人と同じ)

- ①平成29年度の県社会人選手権大会出場者
- ②平成30年度の県総合選手権大会出場者
- ③平成30年度の国体県予選 (成年の部) 出場者
- ④平成30年度の春季新人戦出場者
- ⑤平成30年度の秋季新人戦出場申込者

今年度より 65 歳以上種目の推薦
を廃止したのでご注意ください

(2) 選考方法

- ①平成29年度の全日本シニアでベスト 16 に入った者及び公開競技種目出場希望者の者は選考対象及び参加枠数外とする
- ②申込み資格対象大会の上位入賞者より参加枠数に応じ決定する
- ③参加枠数への優先順位は (1) の申込み資格対象大会の記載順とする
但し、参加申込み数が参加枠数を超えた場合 (1) の①を優先し②～⑤の成績を総合的に判断し決定する
- ④複・混合複は選考対象大会のパートナーでなくても出場可とするがいずれの選手とも (1) の申込み資格対象大会への参加が必要とする

- ⑤参加枠内での参加申込数の場合（１）の申込み資格対象大会参加のみで可とする
この場合申込み資格対象大会の初回戦での棄権は問わない
- ⑥申込み資格対象大会の参加種目は問わない
- ⑦最終選考は競技委員会一任とする
- ⑧（公財）日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること

（３）申込みランキング

- ①全日本シニアの参加資格（前回大会ベスト１６）
- ②①項以外は申込み資格対象大会の（１）の②の成績を基本に他の各成績を総合的に考慮し決定する
- ③申込みランキングは競技委員会一任とする

4. 中部日本

4. 1 一般・年代別

（１）申込み資格対象大会（２項の全日本社会人と同じ）

- ①平成29年度の県社会人選手権大会出場者
- ②平成30年度の県総合選手権大会出場者
- ③平成30年度の国体県予選（成年の部）出場者
- ④平成30年度の春季新人戦出場者
- ⑤平成30年度の秋季新人戦出場申込者

（２）選考方法

- ①平成29年度の中部日本の優勝者は選考対象及び参加枠数外とする
- ②申込み資格対象大会の上位入賞者より参加枠数に応じ決定する
- ③参加枠数への優先順位は（１）の申込み資格対象大会の記載順とする
但し、参加申込み数が参加枠数を超えた場合（１）の①を優先し②～⑤の成績を総合的に判断し決定する
- ④複・混合複は選考対象大会のパートナーでなくても出場可とするがいずれの選手とも（１）の申込み資格対象大会への参加が必要とする
- ⑤参加枠内での参加申込数の場合（１）の申込み資格対象大会参加のみで可とする
この場合申込み資格対象大会の初回戦での棄権は問わない
- ⑥中部日本の実施種目において参加枠外となる種目への申込みにおいても（１）の申込み資格対象大会への参加は必要とする
また、この参加枠以外の種目毎に設定されている参加数制限については適応する
- ⑦申込み資格対象大会の参加種目は問わない
- ⑧最終選考は競技委員会一任とする

（３）申込みランキング

- ①中部日本の参加資格（前回大会優勝者）
- ②①項以外は申込み資格対象大会の（１）の②の成績を基本に他の各成績を総合的に考慮し決定する
- ③申込みランキングは競技委員会一任とする

4. 2 少年の部

参加数及びランキングについては選手強化委員会と競技委員会で検討し決定する

5. 加盟連盟推薦枠

各大会の「申込み資格対象大会」を満たさない場合でも会員登録先の連盟理事長・委員長の推薦があれば参加枠がある場合に限り参加申込みを受け付ける

（１）推薦条件

- ・前年度に愛知県協会への登録が無く、転入等で平成30年5月1日以降に県協会登録された選手であること（県総合選手権大会の締切以降の登録で「申込み資格対象大会」が無い）
- ・平成30年度の県社会人選手権大会に参加すること（除 学生連盟）

（２）実業団連盟、社会人連盟、教職員連盟、レディース連盟、学生連盟を対象にする

（３）申込み者は別紙にて推薦申請書を作成し各登録先の連盟に依頼すること

以上

平成30年度愛知県バドミントン協会代表選手推薦申請書

本申請書は、平成29年11月11日付「平成29年度 愛知県代表選手選考基準」における「5. 加盟連盟推薦枠」の申請を受ける際に使用します。

出場を希望される対象の全国大会毎に、所属連盟の窓口にお送り下さい。

出場を希望される対象の全国大会の参加申込書には、「備考欄」に「加盟連盟推薦申請中」と記入して、本申請書とは別に申込先にお送り下さい。

連盟理事長・委員長殿

申請日：平成29年 月 日

当団体所属の以下の選手の推薦をお願いします。

出場を希望する全国大会名（いずれか1大会のみ「○」印で選択下さい）	
<input type="checkbox"/>	第61回全日本社会人バドミントン選手権大会
<input type="checkbox"/>	第35回全日本シニアバドミントン選手権大会
<input type="checkbox"/>	第71回中部日本バドミントン選手権大会

所属連盟名（「○」印で選択下さい）	
<input type="checkbox"/>	実業団連盟
<input type="checkbox"/>	社会人クラブ連盟
<input type="checkbox"/>	教職員連盟
<input type="checkbox"/>	レディース連盟
<input type="checkbox"/>	学生連盟

申請者

所属団体名	責任者氏名	連絡先電話番号(携帯電話番号)
	Ⓜ	- -
責任者住所 〒 -		
登録番号	選手氏名	ふりがな
申請理由	平成28年度に愛知県協会への登録が無く、転入等で平成28年5月1日以降に愛知県協会登録された選手です。	

所属連盟推薦欄

推薦日：平成29年 月 日

当連盟所属の上記選手を標記の出場希望大会に推薦します。	
連盟名	理事長名・委員長名 Ⓜ

送付順：

申請者 → (所属団体責任者) → 各連盟窓口 → 各連盟理事長(又は委員長) → 県協会窓口 → 県協会競技委員会

注意：

- 本申請書の使用出来る対象は、以下の連盟に所属の方のみです。
愛知県実業団バドミントン連盟 (実業団連盟)
愛知県社会人クラブバドミントン連盟 (社会人クラブ連盟)
愛知県教職員バドミントン連盟 (教職員連盟)
愛知県レディースバドミントン連盟 (レディース連盟)
愛知県学生バドミントン連盟 (学生連盟)
- 各連盟で受付後、連盟推薦不可の場合は、申請者に連絡下さい。
- 各送付先は、加盟連盟経由で所属団体に周知済みですが、不明な場合は、全国大会の案内状に記載の「この大会についての問い合わせ先」である県協会競技委員会委員長にご連絡下さい。
- 個人登録のみで所属団体を持たれてない方は、「社会人クラブ連盟」登録になっていますので、「所属団体名」欄には「個人登録」ご記入の上、申請者もご自身をご記入下さい。

県協会競技委員会受付欄
受付日：平成 年 月 日